

授業での活用（実践報告例）

【情報コミュニケーション科】

1) 使用機器・使用ソフト名

- ・ P C ・ 文字情報ディスプレイ
- ・ Adobe Acrobat X Pro ・ Adobe InDesignCS5
- ・ Adobe PhotoshopCS5 ・ Adobe illustratorCS5 ・ Microsoft PowerPoint

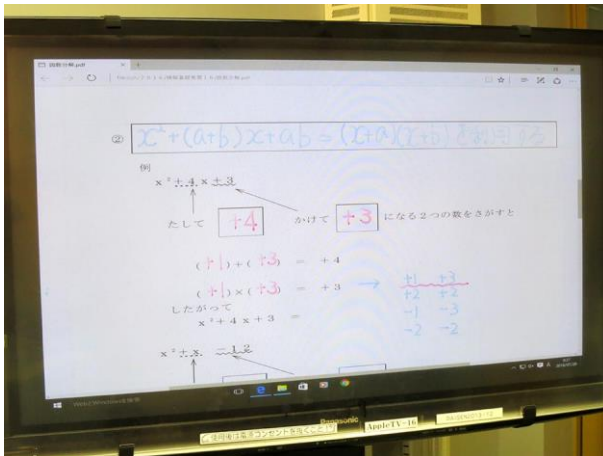
2) 使用状況

学年	学科	科目	週あたりの使用率 (使用時間数/授業時数)
本3	情報コミュニケーション科	情報基礎実習	0 ~ 1 / 1
本3	情報コミュニケーション科	DTP総合実習	4 / 4
専II	情報コミュニケーション科	情報デザイン実習II	4 / 4

3) 使用例および生徒の反応

- 教材プリントのPDF化、文字情報ディスプレイに板書事項、画像、PDF化した教材プリント等を提示。
 - ・教材プリントをPDF化することで文字情報ディスプレイにプリント教材を提示することができる。聴覚障がいのある生徒の場合、プリントを見ながら同時に説明を聞くということは難しいが、ディスプレイに表示すればプリントを見ながら説明を聞くことができる。また、プリントへの記入の指示も的確にできるうえ、板書に要する時間を短くできるのでその分を丁寧な説明にさくことができる。
 - ・PowerPointのアニメーション機能を活用するなど効果的な教材提示ができる。

【ディスプレイ表示の例】



表示させたディスプレイ上に
マーカーで記入していく

○InDesign、Photoshop、Illustrator の利用

- ・画像処理、図形処理、ページレイアウトについて実際的に学ぶことができ具体的に操作できるようになる。また、各ソフトを連携させて作品などを作ることで生徒のPC活用のスキルや学習意欲が高まる。

4) 今後の展望（来年度に向けての工夫等）

- ・InDesign、Photoshop、Illustratorなどのソフトを家庭で持っている生徒はほとんどいない。家庭での復習が難しいので、その日に学習した内容を家庭でもイメージできるようなプリントを作成してクラウド上にあげ、iPadで学習内容を追体験できるようにしたい。